

平成30年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

■ねらい、出題の内容、今後の学習指導のために

一 言語事項に関する問題

【ねらい】

中学校までに学習した漢字や敬語を中心とした国語の特質に関する事項についての理解度、定着度をみる問題です。

【出題の内容】

- 1 漢字の書き取りに関する問題です。
- 2 敬語に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

語彙を豊かにすることは国語の基本です。漢字に関する事項と言葉の特徴やきまりに関する事項について、基礎的な力を身に付ける指導が求められます。

二 韻文・詩

【ねらい】

複数の短歌を提示し、理解力と鑑賞力をみる問題です。今年度は、「海」を詠んだ短歌からの出題です。

【出典】

太田水穂、落合直文、吉井勇、石川啄木、永田和宏、大岡博の短歌

【出題の内容】

- 1 基本的な短歌についての知識をもとに、短歌に詠まれた情景を読み取る問題です。
- 2 基本的な短歌についての知識をもとに、短歌に詠まれた心情を読み取る問題です。
- 3 短歌についての鑑賞文をもとに、短歌に詠まれた情景や心情を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いや情景を読み取る力を養うことが大切です。一つのテーマを決め、複数の作品を関連付けて指導することも有効です。

三 古典

【ねらい】

基本的な古典の読解を通して、基礎的な知識や読解力をみる問題です。

【出典】

「うひ山ぶみ」

【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣いの問題です。
- 2 本文の内容に関する会話文を完成させることにより、本文の内容の理解を確認する問題です。
- 3 作者の意見について考察させることにより、本文の理解を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

古典に親しむ態度を育て、音読などを通して話の展開や内容を根拠を持って読み取る力を身に付けさせることが大切です。我が国の文化や伝統に親しむ態度を育てることも必要です。

四 文学的文章

【ねらい】

文学的な文章の読解を通して、場面の展開や心情の変化を読み取る力、表現力などをみる問題です。

【出典】

横沢彰『ナイスキャッチ！』

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 場面の状況を理解し、登場人物の心情を適切に読み取る問題です。
- 3 登場人物の心情を展開に沿って適切に読み取るとともに、文脈の中における語句の意味を的確に捉え、定められた字数でまとめる問題です。
- 4 特徴的な表現の効果に着目し、登場人物の心情を展開に沿って適切に読み取る問題です。
- 5 登場人物の発言を朗読するという言語活動を通して、登場人物の心情を正しく読み取る問題です。
- 6 登場人物の行動や文章全体の展開を踏まえ、登場人物の心情を適切に読み取り、定められた字数でまとめる問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などを根拠に登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。また、授業において、朗読や意見の交流などの言語活動を充実させたり、表現上の差異を考えさせたりすることも求められます。

五 説明的文章

【ねらい】

説明的文章の読解を通して、論理的な思考力や読解力をみるための問題です。

【出典】

信原幸弘『情動の哲学入門』

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 単語の分類に関する問題です。
- 3 文章の前半部の内容を適切に理解し、本文の例示について定められた字数で整理する問題です。
- 4 筆者の主張について、本文の表現に基づいて適切に読み取る問題です。
- 5 文章全体における、ある段落の働きを確認する問題です。
- 6 文章全体から筆者の意見を適切に捉え、定められた字数でまとめる問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を把握し、文章の要旨をとらえる力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書くこと」のバランスのとれた指導が望まれます。

六 条件作文

【ねらい】

非連続型テキストから正確に情報を読み取り、各質問項目の回答状況の関連性に着目した上で、自分の考えや意見を明確にして書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

『平成29年度 全国学力・学習状況調査』の質問と回答結果を示した資料から読み取ったことに対して、自分の考えや意見を述べる問題です。

【今後の学習指導のために】

連続テキストや非連続テキストについて内容を読み取り、そこに表されている事実や自分自身の知見を根拠として、自分の考えや意見を書く力を身に付けさせる指導が望まれます。

■まとめ

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習得が求められます。そして、「話す・聞く」「書く」「読む」という各領域相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。

■正解（次頁）

■正答率・部分正答率（％）

国語	番号	大		一				二			
		小	1				2	1	2	3	
			(1)	(2)	(3)	(4)				(1)	(2)
		正答率	79.4	97.8	77.4	91.2	75.9	75.2	96.1	60.3	60.7
		部分正答率									

三				四							
1	2		3	1		2	3	4		5	6
	(1)	(2)		A	B			(1)	(2)		
98.9	75.2	21.1	62.5	96.1	100.0	85.3	52.0	77.0	83.6	88.4	11.6
		37.7					22.6				46.5

五							六		
1		2	3		4	5	6		
A	B		(1)	(2)					
87.9	95.8	43.0	91.4	31.1	55.9	59.9	3.7	20.4	
				38.2			31.8	64.5	

三			二			一				大問題	
3	2	1	3	2	1	2	1			小	
オ	(2) 他の本もあれこれと読んで、また初めの本に戻って何度も読む	(1) 初心のほど	(2) わがこころ燃ゆ	(1) しらしらと氷かがやき	E	ウ	(4) 減量	(3) 沿岸	(2) 助(かった)	(1) 預(ける)	正 解
	(1) かかわらず										

五						四				大問題					
6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1	小			
六	情動の誤りを見抜いて害をもたらさないように制御し、それを繰り返すことによつて適切な情動を生み出せるように情動能力を鍛錬する働き。	ウ	(2) 有頂天になるほど喜び得意げに友人に語る	(1) 状況の無価値なあり方	イ	これまで自分を受け入れてくれた二人に深く感謝し、これからは野球部で頑張ろうという思いをいつそう強くしている。	ア	(2) オ	(1) いつものように	転部する決意をどのように伝えればよいかわからなかったから。	イ	おん	A	しほ(り)	正 解